助動詞 マスタープリントNO3

推量系の助動詞「む」「むず」「じ」「べし」「まじ」

⑬ 「む」 「む」の意味は「 ・ ・ ・ ・ ・ 」と覚えよう！
（関西の人なら「おっちゃん、こんなスカスカな西瓜食えへんで。とりかえて～な」って感じ？）

① （　　）＝〈　　〉　「～　　」
② （　　）＝〈　　〉　「～　・～　・～　・～　」
③ （　　）＝〈　　〉　「～　　」
④ （　　）＝〈　　〉　「～　　、　　」
⑤ （　　）＝〈　　〉　「～　　・　　・・・」
⑥ （　　）＝〈　　〉　「～　　・or訳さなくてよい」
　　・～　　」（勧誘は軽い命令って感じ）

㊟③の可能推量は通常、辞書や参考書には載っていないが、徒然草等には登場する。もともと「む」の代表的意味は推量で、それに可能が加わっただけで、英語のmay be able to に当たる。「まじ」に不可能推量が登場するので、それに慣れる意味でも「む」の可能推量は知っていて損はないと思う。

	未然	連用	終止	連体	已然	命令	接続	活用タイプ
む			（　）	（　）			形	型

★「む」には6つほど意味があるけれど、これをいちいち訳を当てはめて考えたんじゃ、とても無理。「む」はその位置が文中か、文末かで意味は簡単に絞られる。これを知らなきゃ損、損、損！

♥「む」の文中・文末用法

A ――む（体言）――　文中にある「む」はとにかく〈　　〉か〈　　〉。
B ――――む。――　文末にある「む」はまずは、〈　　〉か〈　　〉。

A 文中用法　――む（体言）――。　「む」は必ず（　　）形。
文中用法は何も悩まず〈　　〉か〈　　〉。
※仮定と婉曲のどちらかに決めようと悩む必要はない。入試では絶対にそんなことは問わない。

B 文末用法　Sが　――――む。
「む」の重要な意味である推量と意志は文末用法なので、見分け方をしっかり身に付けよう。
①S＝主語が（　　）＝自分や相手以外の人、もの。⬇〈　　〉
②S＝主語が（　　）＝自分・当事者自身。⬇〈　　〉
③S＝主語が（　　）＝会話の相手や読者。⬇〈　　〉
④可能推量も文末用法だが、この用例は少ない。訳でアプローチしよう。

※但し、100％主語によって「む」の意味が決まるわけではないので、必ず訳と合わせて確認する癖を付けよう。右のセオリーと訳を合わせれば「む」は必ず使いこなせるようになる。

また、次のように文中用法か、文末用法か判断しにくい場合もあるので、きちんと区別して、判定しよう！

ⓐ・・む　（引用の助詞）と・どて・など　（　　）相当

ⓑ・・む　よ。　（詠嘆や強意などの助詞）　この⑥の「む」は文中にも文末にもなり得るので、形の上からでは判断できない。訳で確認しよう！

・・む　ぞ。

◆訳に慣れよう。

①「少納言よ、香炉峰の雪いかなら む」＝「清少納言よ、香炉峰の雪はどんな（　　）」【枕】（　　）

②「まろ、この歌の返しせ む」＝「私がこの歌の返歌を（　　）」【土佐】（　　）

③「かばかりになりては飛び降るとも降りな む」＝「これくらいの高さになっては、飛び降りても、きっと降りることが（　　）」【徒然】（　　）

④銭あれども用ゐざら む は、まったく貧者と同じ。＝お金があっても使わない（　　）、まったく貧乏人と同じことだ。【徒然】（　　）

⑤年五十になるまで上手に至らざら む 芸をば捨つべきなり。＝年が五十になるまで熟練の域に達しない（　　）芸はｏｒ達しない芸は捨てた方が良いのだ。【徒然】（　　）

⑥「鳴り高し。鳴りやま む。はなはだ非常（ひざう）なり。座を引き立てて、立ち給ひな む」＝「騒々しい。静かになさる（　　）。まったくもって論外です。（あなたたちは）席を立って、お立ち去り（　　）」【源氏】（　　）

♠「～こそ～め」の「め」＝「む」の（　　）形は会話文中で目の前の相手や、また書物の中で読者に対して言っている時は（　　）になる。次は病気に悩む源氏に対して、源氏の家臣が言ってるよ。「ししこらかしつるときはうたてはべるを、とく こそ 試みさせたまはめ。」＝「病気をこじらせてしまった時は、よくございませんので、早く（聖の祈祷を）お試し（　　）」

⑯「べし」　「べし」の意味は「　・　・　・　・　・　」と覚えよう！

①（　　）＝（　　）「～　・～　　」
②（　　）＝（　　）「～　・～　・～　　」
③（　　）＝（　　）「～　　」
④（　　）＝（　　）「～　・　　」
⑤（　　）＝（　　）「～　・～　・～　　」
⑥（　　）＝（　　）「～　・～　　」

	未然	連用	終止	連体	已然	命令	接続	活用タイプ
べし	（　　）							型

★たくさんある「べし」の意味をどうやって決めるか。

「べし」は「（論理的に判断して）当然・・・はずだ」という論理性・当然性・必然性の強い推量であり、（　　）がその大本の意味だと言われる。「細かい意味は７つくらいに分類するのが一般的であるが、実際の例がどの意味に当たるかは判定しにくい場合が多い」と小学館の古語大辞典にも書かれている。事実、「べし」は意味がひとつに絞り込めず、複数の意味が該当してしまうケースが多い。だから複数の意味が該当してしまう「べし」の意味を無理にひとつに絞ろうと神経質になる必要はない。最近の入試では意味が一つに絞り込める「べし」が出題されている。２０１１年に学習院・文が〈推量〉と〈可能〉の意味を問うた。